

# ことばの教室だより

令和7年5月  
入間川東小学校  
ことばの教室  
Tel 04-2952-3118



## ことばの教室って、どんなところ？

ことばの教室は、言葉や聞こえに関する一人一人の課題を改善・軽減し、学級でよりよい生活や学習ができるよう援助するところです。担任の先生方や保護者の方と協力して、児童のよりよい成長を図っていきたいと考えています。



(グループ学習にて)

## こんな子はいませんか？



てんてい、だっとう  
は、たのちいよ。

### <発音の誤り>

年齢に比べて幼い発音が残っていたり、聞きづらい癖のある発音がまじったりする。

えっ、えっ？  
なんていったのかな。



### <難聴>

聞き返しや聞き間違えが多い。言葉の数が少なかったり、発音が誤っていたりする。

### きつおん <吃音>

言葉がなかなか出なかったり、はじめの音を繰り返したり、伸ばしたりする。



・・・はい、  
げげ、げーんき  
です。

## ご連絡ください

担任の先生が言葉や聞こえの課題に対して気づき、早期の対応をとることで良い効果を生むことができます。気になることがありましたら、ぜひご相談ください。また、保護者の方から、「ことばの教室」へ直接電話をいただく方法でも、相談を受け付けています。

### ことばの教室通級児童の実態

<障害種別・学年別人数>

(令和7年5月現在：(1)は、その内の重複している児童)

障害種別/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
構音(発音の誤り)	4	1 1	8	3	1	0	2 7
吃音	4 (2)	2 (1)	3	2	1	3 (1)	1 5 (1)
難聴	0	0	0	0	0	0	0
計	8	1 3	1 1	5	2	3	4 2

\*令和6年度通級児童数は、総計50名でした。

裏面もあります

## 「注文に時間がかかるカフェ」全国展開中



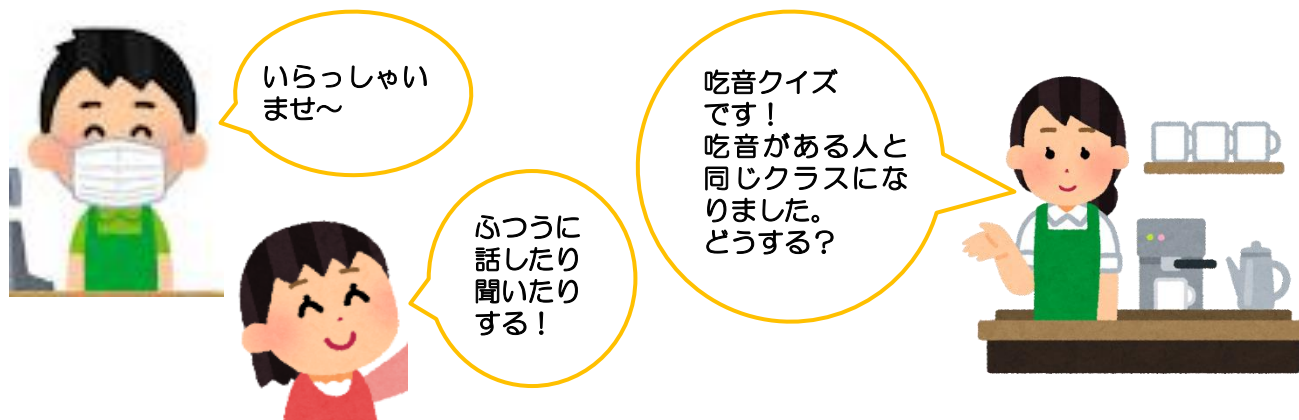
「吃音」についての社会への理解を促す記事や番組が、数多くみられるようになりました。

「吃音があってもカフェで働きたい」「接客業に関心があるけど、吃音が受け入れられるか心配…」吃音のある若者に自信をつけてもらおうという取り組み（1日限定カフェ）が、全国展開をしています。

主催者の吃音当事者である奥村安莉沙さんは、「カフェを通じて吃音への理解を深めてもらい、不安や悩みを抱える若者が、幸せに生きられる社会を目指したい」と活動を続けています。

カフェのスタッフは、マスクやエプロンに「言葉がすぐに出ないときも、最後まで聞いてくれると嬉しいです」等メッセージを書いたり、注文を取りながら吃音クイズを出したりと、明るい雰囲気でお客さんと会話をしています。この取り組みは、映画や本にもなっています。

最近では、「号令に時間がかかる教室」（教員を目指す吃音がある学生による吃音理解啓発授業体験）や「おんどっく」（セラピー犬と音読に挑戦、8月予定）も行われるようになりました。



### 「吃音」って?

主に、語音を繰り返したり、引き伸ばしたり、音がつまって出てこなかったりする話し方です。

幼児期に吃音がはじまった子どもの8割程度は、小学校低学年頃までに、自然に消失することが知られています。吃音の原因は、お子さんが焦っているからでも、緊張しているからでも、もちろん育て方のせいでもなく、現時点ではよくわかりません。

### 吃音のお子さんへの対応

- ゆっくりと話しかけたり、十分に間を取りながらゆったりと接したりします。
- 「ゆっくり」、「落ち着いて」、「もう一回言ってごらん」などの言葉かけは、子供を緊張させ、かえって話しにくくさせるので控えます。
- 「話し方」ではなく「話している内容」に耳を傾けます。



参考：合同出版  
「イラストでわかる  
子どもの吃音サポートガイド」  
小林宏明 著